

柱状図の見方

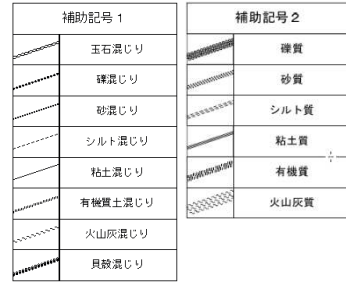
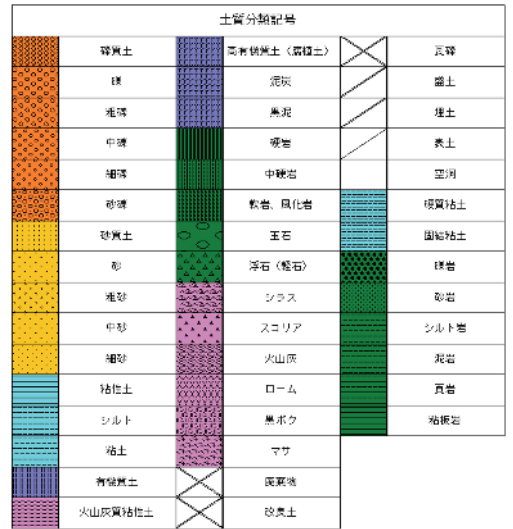
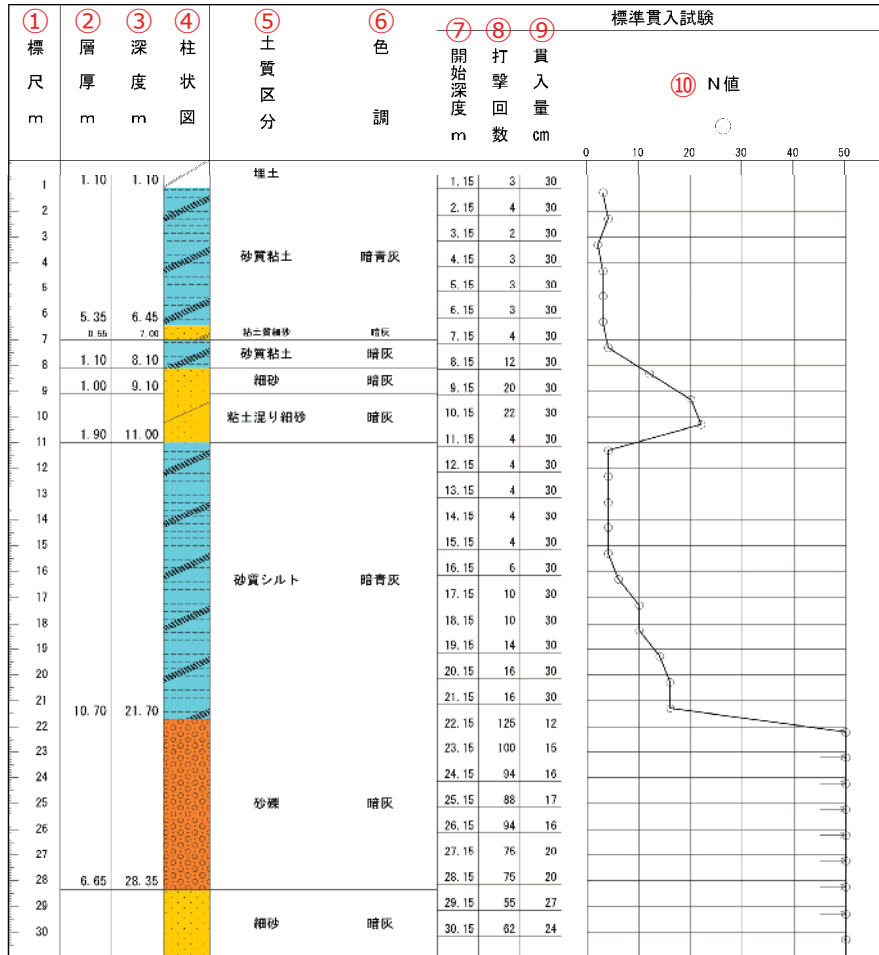
ボーリング番号 : 22160043

調査時期 : 1972年4月

表示座標 ※1 : 北緯=35度48分21秒 東経=139度46分9秒

孔口標高 ※2 : T.P. +4.52 m

孔内水位 ※3 : GL -0.75 m



※1 表示座標は、調査地点のおおよその位置を示しています。
 ※2 孔口標高は、国土地理院発行の数値地図 5m メッシュ (標高) より取得した値を表示しています。
 ※3 孔内水位は、孔口 (地表面) から地下水水位までの深さを示しています。
 また、掘削時の人為的な影響等により、厳密な意味での自然地下水水位とは異なります。

• 用語の説明

- ① 標尺 (m) : 基準となる長さを 1m 単位の主目盛と 10cm 単位の補助目盛で表示しています。
- ② 層厚 (m) : 各層の厚さを示しています。
- ③ 深度 (m) : 地表面からの深さを表しています。
- ④ 柱状図 : 土の種類を記号で表現したものです。
- ⑤ 土質区分 : 土の種類を名称で表現したものです。
 (柱状図の図柄と土質区分名称については、土質分類記号と補助記号を参照してください。)
- ⑥ 色調 : 調査が行われた時の土の色を表現したものです。
- ⑦ 開始深度 (m) : N 値の測定を開始した深さを表しています。
- ⑧ 打撃回数 : N 値と呼ばれるもので、63.5kg のおもりを 75cm の高さから落下させた時の回数で表します。一般に地盤の強さを表す指標とされるものです。
- ⑨ 貫入量 (cm) : ⑧の打撃回数で貫入した深さを表すものです。通常、試験はロッドが 30cm 貫入するまで行います。ただし、地盤によって、数回で 30cm 以上貫入する場合もあれば、50 回以上の打撃を行っても 30cm 未満の場合もあります。
- ⑩ N 値 : 打撃回数をグラフ化したものです。最大値は 50 回で、50 回を超えるものを→で表示しています。